

ルーマニア民族舞曲

Jocuri Poporale Românești

B. バルトーク 作曲

鎌田拓也 編曲

Comp.by. Béla Bartók
Arr.by.TakuyaKamada

曲について

ルーマニア民族舞曲 1915 年にバルトークによって作られた作品で原曲はピアノ小組曲です。その 2 年後に作者自身により小管弦楽に編曲もされています。7 つの舞曲の旋律を用いて 6 つの楽章で構成されています(6 楽章は 2 つの舞曲から成ります)。

I : ジョグ・ク・バータ(棒を使った踊り) マロシュ・トルダ県で採譜。

II : ブラウル(飾り帯をつけた踊り) トロンタール県で採譜。

III : ペ・ロック(足踏み踊り) トロンタール県で採譜。

IV : ブチュメアーナ(角笛踊り)トルダ・アラニョシュ県で採譜。

V : ポアルガ・ロマネアスカ(ルーマニア風ポルカ)ビハール県で採譜。

VI : マヌツェル(急速な踊り) ビハール県とトルダ・アラニョシュ県で採譜。

吹奏楽にも編曲され各地で頻繁に演奏されています。吹奏楽版として有名なものには後藤版、山本版、高桑版、小野寺版などがあります。また管楽アンサンブルとして山本版、大久保版、福島版、堤版など広く演奏されています。

今作は吹奏楽で演奏しやすいように後藤版や大久保版などと同じ調整を採用しました。原曲の響きを残すための工夫としてピアノを編成に加え、solo も持たせました。編成も小編成にし、難易度でもできるだけ下げ楽器を始めて間もないスクールバンドでも取り組めるよう心掛けました。

演奏について

- 1 楽章 : 四分音符のテヌートがレガートにならないように気を付けてください。繋がって聞こえるというよりは舞曲のステップのように聞こえる方がいいでしょう。
- 2 楽章 : 演奏に余裕が出てきたらテンポを揺らすと良いでしょう。可愛らしさが出ます。
- 3 楽章 : solo は装飾音符も含め細かい音符を大切にしてください。
- 4 楽章 : 旋律は情緒的に歌いこむこと。練習番号 **I** は特に感情を込め響かせてください。
- 5 楽章 : スタッカートは鋭く軽く、アクセントは踊りの決めの部分です。
- 6 楽章 : 明るい賑やかな楽章ですがメリハリをつけ、うるさい音楽にならないようにしましょう。

(2012 年 8 月 11 日(土)編曲者 : 鎌田拓也)

© 2012 by TakuyaKamada

ルーマニア民族舞曲

Jocuri Poporale Românești

B.バルトーク 作曲
鎌田拓也 編曲

I 棒を使った踊り

Molto Moderato ♩=88

A

※Piccolo

Flute 1

Flute 2

※Oboe

※Bassoon

B♭ Clarinet 1

B♭ Clarinet 2

Bass Clarinet

Alto Saxophone

Tenor Saxophone

Baritone Saxophone

B♭ Trumpet 1

B♭ Trumpet 2

Horn 1

Horn 2

Trombone 1

Trombone 2

Euphonium

Tuba

※Contrabass

Timpani

Percussion 1st

Percussion 2nd

Piano